

B型肝炎ワクチンの接種の定期接種化(予定)について

～ 平成 28 年 4 月 1 日以降に生まれた方へ ～

B型肝炎ワクチン

B型肝炎ワクチンは、「B型肝炎ウイルス」による肝炎や将来の肝臓がんを予防できるワクチンで、世界の殆どの国と地域で定期接種として全ての赤ちゃんに接種が行われています。

残念ながら日本では任意接種として希望された方のみが有料で接種を受けているのが現状ですが、ここ数年接種の重要性が広まり、ロタウイルスワクチンと共に、生後 2 か月のワクチンデビューと同時に接種を開始される方が増えてきたことはうれしい限りです。

このワクチンは他のワクチンと違って年齢の制限がありません。しかも、生後早くから接種を開始するほど、その効果が高いことがわかっています。

B型肝炎ワクチンの定期接種(無料化)が“予定”されています

平成 28 年 1 月、厚生労働省は専門家の意見を取り入れ、定期接種化(四種混合やヒブワクチンなどのように、対象となるすべての子どもに原則無料で接種)をする方針を決めました。

現在のところ、

対 象 : 平成 28 年 4 月 1 日以降に生まれた、接種当日に 1 歳未満 のお子さん

接種開始 : 平成 28 年 10 月 1 日

接種回数 : 3 回 (下図参照)

の予定となっています。(まだ決定ではありません。決まり次第、院内掲示やホームページでお知らせします。)

10月まで接種を待っていいの？

10 月まで接種を見合わせれば無料で接種出来る可能性が高いと思われませんが、それまでの間は B型肝炎ウイルスに対する免疫(防御力)が得られず感染の危険性があること、わずかではありますが、接種の有効性が落ちる可能性があること、接種スケジュールに余裕が無いため、途中で体調を崩した場合や集団接種日との間隔調整などで 3 回目の接種が 1 歳未満に終了できない可能性があること、また、接種開始直後は希望者が多くなり、インフルエンザワクチンの接種時期とも重なるため、混雑する可能性があることを含めての判断が必要です。

